

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍においても、書面での会議の開催が望まれる。利用者やホームの状況などを、会議参加者全員に発信し、意見をもらうことを検討されたい。	施設内や利用者の状況、催し等を会社で検討していきたい。 ホームや利用者の状況は書面での発信を怠らないようにしていきます。	役員の方々とも密な連携が今後も継続していけるよう、ホームへの訪問は難しい状況ではありますが、定期開催を見据えた上での会議を今後も継続し発信し意見を頂き向上していきます。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期におけるホームの対応について、口頭だけでなく文章化して、家族に説明することを検討されたい。	重度化や終末期の対応について会社で検討し文章化し今後に役立てていきたい。	ご家族がいない方が大半ですが、ご家族がいらっしゃる方には、重度化や終末期の対応等の書面を作りより理解して頂けるよう努力していきます。	3ヶ月
3	35	新型コロナ収束に向け、利用者も参加した避難訓練に実施、地域との協力体制づくりをおこなっていくことが期待される。	外部を入れての訓練は、まだ難しい状況ではありますが避難経路や避難場所の確認をするうえで利用者の状況を見ながらホーム内での訓練を実施していきます。	地域の方や消防署の協力、指導を再度確認しながら、今の状況下で出来る訓練を計画し各棟で実施し今後、全体訓練がスムーズに行えるよう努力していきます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月